

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課	■担当係	環境企画係
■評価事業名称	有害鳥獣捕獲連絡協議会負担金(事務局事務を含む)		
■評価事業コード	030200 - 106	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	01 豊かな自然環境の保全	
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	適切な時期に有害鳥獣の捕獲を実施し農作物及び市民生活への被害防止を図る。有害鳥獣による被害を最小限にとどめるため、協議会に負担金を支出し、協議会から猟友会に捕獲事業を委託し、適切な時期に捕獲を実施し農作物及び市民生活への被害防止を図る。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	有害鳥獣捕獲連絡協議会負担金(事務局事務を含む)	市民		【市長許可】一斉捕獲3回カラス677羽、カルガモ28羽、ゴイサギ1羽、カワウ36羽、地域捕獲ハクビシン2回2頭、カワウ1回0羽、カラス1回0羽、農業者の直接申請カラス2回4羽、ノウサギ1回0羽【県南振興局長許可】クマ3回許可7頭内捕獲数1頭

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	774	772	770	778	
人件費	1,894	1,473	973	2,203	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,668	2,245	1,743	2,981	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	市内一斉捕獲回数	3回	3回	3回	3回	対象鳥獣は、カラス、カルガモ、ゴイサギ、カワウの4種。
02	地域捕獲回数	6回	6回	3回	7回	ツキノワグマ捕獲の件数は除く。
03	実捕獲数	862	781	710	749	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析		問題点・課題等
■ 目標達成状況 ☒ A. 順調 ☐ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	有害鳥獣による生活環境や農作物等への被害防止事業に係る負担金。	
1. 直接的な受益者の範囲 ☒ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☒ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■ 今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 民間活用・協働事業化 ☒ II. 継続 ☐ V. 廃止・休止 ☐ III. 縮小・要改善 ☐ VI. 完了		補足説明